

地球科学輻合ゼミナール

(2013年度 後期 第4回)のご案内

超巨大地震の強震動評価
—2011年東北地方太平洋沖地震を踏まえて—
岩田知孝

京都大学防災研究所・地震災害研究部門

2011年東北地方太平洋沖地震では、甚大な津波被害に対して、揺れによる被害は比較的少なかった。しかしながら震度6弱を越す地域が広範に広がり、長時間の揺れによる東京湾岸地域での液状化被害、長周期地震動による被害など、超巨大地震ならではの揺れの特徴が見られた。東北地方太平洋沖地震の揺れの特徴とその成因、その教訓を踏まえた南海トラフでの（超）巨大地震などによる揺れの予測についての話題提供をします。

11月6日(水) 午後4:30～午後6:00

場所：理学研究科6号館 303号室